



令和4年2月14日
令和3年度学校だより NO.51③
加古川市立平庄小学校

シトラスリボンプロジェクト

『シトラスリボンプロジェクト』とは、新型コロナウイルスに感染した人や医療従事者とその家族などへの差別や偏見を防ぐため、愛媛県の有志のみなさんがはじめられたプロジェクトです。

愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンで作られた3つの輪は、『地域』『家庭』『職場・学校』を表現しています。

差別や偏見を防ぐことで、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。

新型コロナウイルスに感染するリスクは誰にでもあります。

『シトラスリボンプロジェクト』は、新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷、偏見や差別、風評被害等の防止を目的にしたプロジェクトです。



3学期の始業式（1月）や2月の朝会で子どもたちに呼びかけています

現在、兵庫県にはまん延防止等重点措置を実施すべき区域に指定されています。学校でも、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら教育活動を行っているところです。

3学期の始業式や2月の朝会で、担当から子どもたちに、新型コロナウイルス感染防止対策と人を大切にすることについての話をしています。



現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。そこで、3つのことをみなさんにお話します。

1つ目は、気をつけることです。新型コロナウイルスの感染防止対策として、今まで同様3密を避けること、そしてマスク着用の徹底をすることです。

2つ目は、やさしくすることです。人のことや病気のことなど、あれこれ言わずに人に優しくしましょう。

3つ目は、相談することです。現在、コロナが流行しています。不安や心配な気持ちをもつことは悪いことではありません。当たり前です。一人で抱え込まずに近くの大人の人に相談しましょう。

《子どもたちの学習の様子より》



6年生が、『春の海（宮城道雄）』の鑑賞をしているところです。お正月によく耳にする琴と尺八のアンサンブル曲です。

さざ波の音のような琴のメロディに尺八の音色が重なっています。

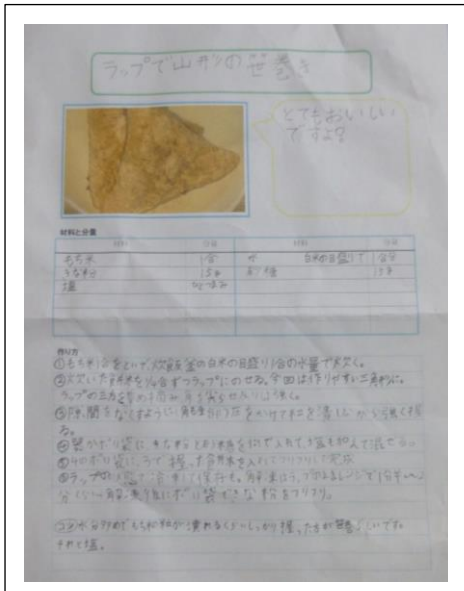


もち米販売（4年生：総合的な学習）

↓もち米販売のポスター

4年生が、総合的な学習の中で、もち米販売を行いました。販売に用いたもち米は、6月に、地域の方々の協力のもと、3年生と共に田植えをし、育ててきたもち米です。夏には、田んぼの水の管理や除草作業等、地域の方々にたくさんのご支援をいただきました。そして、秋に収穫をしました。

子どもたちは、もち米販売のポスターや注文書を作ったり、もち米を量って分配したり、もち米を使った料理のレシピを紹介したりと、みんなで協力しながらもち米販売を実施することができました。



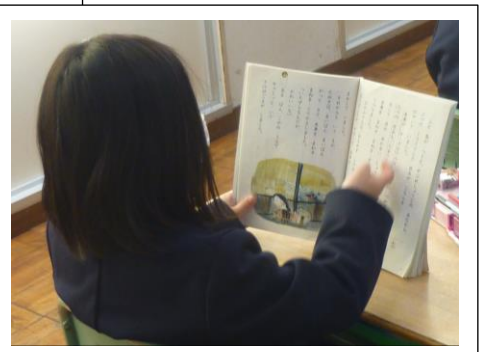
4年生が紹介してくれたレシピをもとに、『ラップで山形の笹巻き』を作ってみました。もち米が炊きあがった時には、お米のとてもいい香りがしました。炊いたもち米にきな粉の味が加わり、とてもおいしかったです。

※もち米販売での売上金は、環境費として肥料代等に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

↑「ラップで山形の笹巻き」レシピ

紙芝居作りをしました（1年生）

1年生が、国語科で、『たぬきの糸車』の学習をしました。それをもとに、子どもたちが、『たぬきの糸車』の紙芝居を作りました。



紙芝居が仕上がった児童から読む練習を始めています。主体的に取り組んでいます。